

2024年12月3日

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

各位

サステナビリティレポート 2024/2025 の発行について

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(取締役社長:菱田 賀夫、以下「弊社」)は、本日、「[サステナビリティレポート 2024/ 2025](#)」(以下、本レポート)をウェブサイトにて開示しましたので、お知らせいたします。

弊社は、運用部門におけるスチュワードシップ活動にフォーカスを当てた「スチュワードシップレポート」を2017年に他に先駆けて初版を発行して以来、毎年改訂を重ねてまいりました。さらに昨今、企業としてのより広範なサステナビリティ活動の高度化に取り組んできたことも踏まえ、今年度から新たにコーポレート部門を含めた全社におけるサステナビリティ活動を対象とした「サステナビリティレポート」として刷新し、ステークホルダーの皆さまへの発信を強化いたします。

レポートの前半「SMTAMのサステナビリティ経営」編では弊社の「マテリアリティ」の全体像とともに、主にガバナンス・経営基盤に係る当社の考え方や取り組みについてご紹介しています。また、後半の「SMTAMのスチュワードシップ活動」編では、弊社のスチュワードシップ活動に対する考え方や取り組みについてご紹介し、包括的に活動方針や活動実績をご説明しています。

「サステナビリティレポート 2024/2025」のポイントは以下の通りです。本レポートを通して、お客様をはじめとした幅広いステークホルダーの皆さまに、弊社のサステナビリティ活動に対するご理解を深めて頂ければ幸いです。

弊社は、コーポレートとしてのサステナビリティ活動、および運用部門におけるスチュワードシップ活動をフィデューシャリー・デューティの要と位置付け、「責任ある投資家」としての役割を適切に果たしてまいります。

- よりよい商品をお客さまへ継続的に提供する為のプラダクトガバナンス体制、持続的に高い付加価値を発揮する為の人的資本経営のあり方など、当社の価値創造プロセスの要点を分かりやすく掲載
- 地球・地域の環境保全につながる気候変動問題への対応や社会貢献活動など、さまざまなサステナビリティ関連活動に加え、投資家の裾野拡大に向けた金融リテラシーの高度化活動をご紹介
- 従来型のエンゲージメント事例に加え、①足下で議論が活発な、あるいは活発になりつつあるアジェンダに対する弊社の考え方も交えた事例、②議決権行使とエンゲージメントの一体活動の事例のご紹介
- 気候変動と自然資本についての情報開示フレームワークに則した「[TCFD TNFD レポート 2024/2025](#)」のダイジェストを掲載するとともに、同レポートへの誘導を実現

以上